

主要施策5 県立高校改革の推進

予算額 5,051,555千円
(前年度 2,810,725千円)

【基本的な考え方】

平成28年度からの12年間を計画期間とする「県立高校改革実施計画」を着実に推進し、質の高い教育の充実、学校経営力の向上、再編・統合等の取組みを柱とした改革に、すべての県立高校で取り組む。

【改革の3つの柱】	【改革のめざす姿】
【柱1】 生徒の多様性（ダイバーシティ）を尊重し、個性や能力を伸ばす 質の高い教育の充実	〈めざす生徒像〉 県立高校に学ぶ生徒を、夢や希望、そして志をもち、学びを通じて自らの人生を切り拓き、生涯をたくましく生きる力や、人を思いやり、社会とかかわり貢献する力を身に付けた人に育てます。
【柱2】 魅力ある学校づくりを一層推進する 学校経営力の向上	〈めざす学校像〉 「めざす生徒像」の実現に向けて、生徒一人ひとりを大切に育む豊かな人間性と高い専門性を身に付けた教職員の育成・配置や、生徒にとって安全・安心で快適な教育環境の整備、さらには地域と連携した学校づくりなどを通じて、県民と地域に信頼され、活力ある魅力にあふれた県立高校にします。
【柱3】 少子化社会の中で生徒に望ましい教育を推進する県立高校の 再編・統合	

1 主な事業内容

区分	主な事業名及び事業概要	予算額
(1) 質の高い教育の充実		1,477,755千円
ア (重点目標1) すべての生徒に自立する力・社会を生き抜く力を育成します		
①	教育課程の改善 全県立高校2年生等を対象に生徒学力調査を実施し、生徒一人ひとりの学力の定着と向上に取り組む。 また、教育課程に関する研究開発を実施する。(指定校21校)	50,734千円
②	授業力向上の推進 学校全体で生徒一人ひとりの学力の定着と向上を図るため、授業力向上に関する先進的な研究開発(指定校6校)やICTを活用した主体的・対話的で深い学び(いわゆるアクティブ・ラーニング)などの指導方法や教材等に関する研究開発(指定校6校)を実施する。	1,200千円
③	プログラミング教育の推進 コンピュータプログラムの作成に協働して取り組む学習を通して、論理的思考力や問題解決能力の育成を図る研究を実施する。(指定校5校)	500千円
④	生徒の英語力向上の推進 全県立高校等に配置しているネイティブスピーカーの外国語指導助手(ALT)の契約形態を請負委託から派遣へと変更し、新たに教員とのチーム・ティーチング等を実施する。 生徒の英語力向上をめざして英語資格・検定試験の受験を促進するため必要な支援を実施し、生徒一人ひとりの英語力の定着と向上に取り組む。	399,732千円
⑤	学習機会拡大の推進 生徒の主体的な学びへとつながる様々な学習機会の提供と充実を図るため、県立高校等と大学等教育機関、企業等と連携するコンソーシアムの取組みを推進する。 また、コンソーシアムを先進的に活用し実践するために、特に指定したモデル地域における成果の全県への普及を図る。	14,638千円
⑥	学習意欲の向上と確かな学力の育成 学び直しの学習や少人数指導等の授業実践を通じて、学習意欲を引き出し、確かな学力を身に付ける取組みを実施する。(指定校5校) また、定時制や通信制において、学び直し教材を作成するに当たり工夫・検証に努め、学習内容の質の向上と成果の普及を図る。	11,192千円

区分	主な事業名及び事業概要	予算額
イ	(重点目標2) 生徒の個性や優れた能力を伸ばす教育に取り組みます	
	⑦ 教育課程の改善 学力向上進学重点校やその指定をめざすエントリー校において、幅広い教科・科目の指導や総合的な探究の時間での探究活動等を通じて、生徒一人ひとりに高い学力と、豊かな知恵や経験を身に付けさせ、進路希望の実現に向けて取り組む。(指定校17校)	1,700千円
	⑧ 科学技術・理数教育の推進 理数教育のための教育課程や指導方法、教材等の研究開発を実施する。(指定校6校)	600千円
⑨	グローバル化に対応した先進的な教育の推進 横浜国際高等学校において、国際バカロレア機構の定める教育課程の実施に向け、施設整備や教員養成等の準備を進め、平成31年度内の認定をめざす。 また、生徒の英語によるコミュニケーション能力を高めるため、グローバル教育の研究を推進する指定校(6校)等の英語教員について、海外派遣研修等の取組みを促進する。	867,925千円
ウ	(重点目標3) 共生社会づくりに向けたインクルーシブ教育を推進します	
⑩	インクルーシブ教育の推進(一部再掲) 知的障がいのある生徒に高校教育を受ける機会を拡大するため環境整備を実施するとともに、発達障がい等のある生徒への教育支援のため、県立高校3校で通級指導を実施する。	101,212千円 (教員配置は人件費対応)
(2) 学校経営力の向上		1,775,202千円
ア	(重点目標4) 学校の教育目標の着実な達成をめざす学校経営に取り組みます	
	⑪ 自律的・組織的な学校経営の充実 地域協働・地方創生による学校づくりや学校経営に成果をあげている優れた学校を、学校評価や第三者評価の報告などに基づいて総合的に選考し、必要な支援を実施する。	8,708千円
イ	(重点目標5) 地域の新たなコミュニティの核となる学校づくりを進めます	
⑫	地域協働による学校運営の推進 地域との協働による学校運営や開かれた学校づくりに取り組んできた実績を生かしながら、コミュニティ・スクールを全県立高校等に導入し、学校運営協議会に基づく地域協働による学校運営を推進する。(76校⇒144校)	6,980千円
ウ	(重点目標6) 生徒が安全・安心で快適に学べる教育環境の提供に取り組みます	
⑬	県立高校等の教育環境整備 ICTに係る環境整備、実験・実習等に係る設備・備品整備等を計画的に推進する。	1,741,536千円
(3) 再編・統合等の取組み		1,798,598千円
ア	(重点目標7) 少子化社会における適正な規模等に基づく県立高校の再編・統合に取り組みます	
⑭	県立高校の学科改編・適正配置 神奈川総合高等学校の舞台芸術科整備工事に必要な実施設計、平塚農業高等学校・平塚商業高等学校の新棟(商業教育棟)や吉田島高等学校の新棟(実習棟)の新築工事等を実施する。	1,791,105千円
合 計		5,051,555千円

〔県立高校改革実施計画〕

- ・計画期間：平成28年度～平成39年度を目途に12年間(I期～Ⅲ期)
- ・実施計画は、計画期間の全体にわたる改革内容を示す「実施計画(全体)」と具体的に取り組む施策内容等を示す期別の「実施計画(I期)」～「実施計画(Ⅲ期)」とにより構成

	I期	Ⅱ期	Ⅲ期
期間	H28～H31年度	H32～H35年度	H36～H39年度

※・「実施計画(Ⅱ期)」については、平成30年10月に策定

- ・「実施計画(全体)」については、今後の社会状況の変化やI期、Ⅱ期の期別の進捗状況などに基づき、「実施計画(Ⅲ期)」の策定時に、必要な見直しを図る。

(問合せ先)

【県立高校改革全般】	教育局総務室	県立高校改革担当課長	宮本	電話 045-285-1011
【①～④、⑥～⑧、⑩通級指導について、⑬】	教育局指導部高校教育課	課長	濱田	電話 045-210-8240
【⑤、⑨、⑪、⑫、⑭】	教育局指導部高校教育課	高校教育企画室長	倉田	電話 045-210-8370
【⑩】	教育局インクルーシブ教育推進課	課長	平	電話 045-285-1007